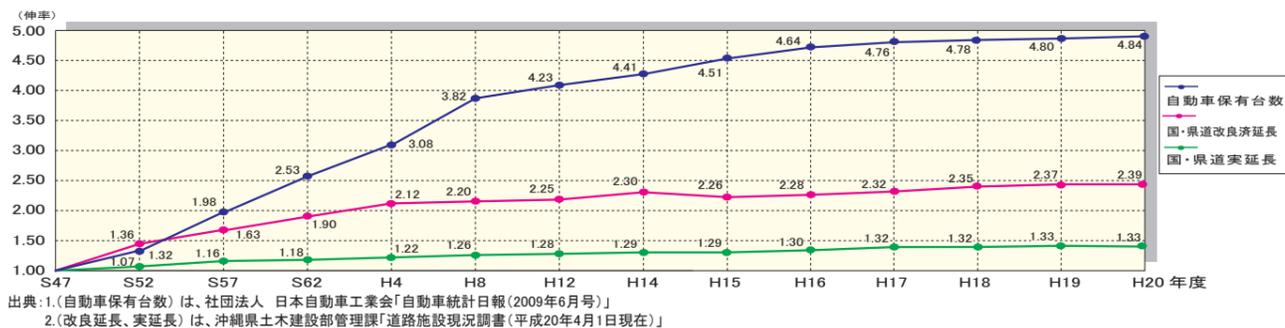


道路改良と自動車保有台数の伸び率比較



全国・沖縄 道路の普及率比較

道路統計年報(2009年版)平成20年4月1日現在

道路種別	全国 沖縄	実延長			改良済延長			舗装済延長			人口千人当り			人口千人当り			車千台当り			車一台当り			面積km ² 当り			整備済延長			人口千人当り		
		(A)	(B)	B/A*100	(C)	C/A*100	改良済率	舗装済率	道路延長率	改良済率	舗装済率	道路延長率	(B')	B'/A*100	道路延長率	整備済率	人口千人当り	改良済率	舗装済率	道路延長率	整備済率	人口千人当り	改良済率	舗装済率	道路延長率	整備済率	人口千人当り				
高速自動車国道	全国 沖縄	7,560.1 57.3	7,560.1 57.3	100.0 100.0	7,560.1 57.3	100.0 100.0	59 42	100.0 70.3	59 42	100.0 70.3	96 60	100.0 63.2	0.096 0.060	100.0 63.2	0.096 0.060	20 25	100.0 125.9	-	-	-	-	59 42	100.0 70.3	-	-	-	-	-	-	-	
一般国道(指定区間)	全国 沖縄	22,786.6 306.4	22,780 305.1	100 99.6	22,481 306.4	98.7 100	178 222	100.0 124.3	176 223	100.0 126.5	288 323	100.0 112.2	0.288 0.323	100.0 113.7	0.284 0.323	60 135	100.0 223.3	13,466 156.5	59.1 51.1	178 223	100.0 124.8										
一般国道(指定区間外)	全国 沖縄	31,949.3 166.8	27,197 159.6	85.1 95.7	27,275 155	85.4 92.9	213 116	100.0 54.5	214 113	100.0 52.7	404 176	100.0 43.6	0.344 0.168	100.0 49.0	0.345 0.164	85 73	100.0 86.7	21,028 147.9	65.8 88.7	250 121	100.0 48.4										
一般国道	全国 沖縄	54,735.9 473.3	49,977 464.7	91.3 84.2	49,756 461.4	90.9 97.5	391 338	100.0 86.3	390 335	100.0 86.1	692 499	100.0 72.1	0.632 0.490	100.0 77.6	0.629 0.487	145 208	100.0 143.6	34,494 304.4	63 64.3	429 344	100.0 80.2										
主要地方道	全国 沖縄	57,890.4 407.5	44,334 373.4	76.6 91.6	41,572 383.2	71.8 94	347 271	100.0 78.2	326 278	100.0 85.5	732 430	100.0 58.7	0.561 0.394	100.0 70.3	0.526 0.404	153 179	100.0 116.9	35,894 307.1	62 75.4	453 296	100.0 65.3										
一般都道府県道	全国 沖縄	71,502.5 632.1	43,025 549.1	60.2 86.9	37,882 524.2	53 82.9	337 399	100.0 118.4	297 381	100.0 128.4	904 667	100.0 73.7	0.544 0.579	100.0 106.5	0.479 0.553	189 278	100.0 146.8	38,761 476.7	54.2 75.4	560 459	100.0 82.0										
都道府県道計	全国 沖縄	129,392.9 1,039.6	87,359 922.5	67.5 88.7	79,454 907.3	61.4 87.3	684 670	100.0 98.0	622 659	100.0 106.0	1,636 1,097	100.0 67.0	1.105 0.973	100.0 88.1	1.005 0.957	342 457	100.0 133.4	74,654 783.8	57.7 75.4	1,013 756	100.0 74.6										
市町村道	全国 沖縄	1,012,087.8 6,346.2	565,740 3,902.4	55.9 61.5	183,848 2,418.1	18.2 38.1	4,431 2,836	100.0 64.0	1,440 1,757	100.0 122.1	12,798 6,694	100.0 52.3	7.154 4.116	100.0 57.5	2.325 2.551	100.0 109.7	2,678 2,788	100.0 104.1	3,902.4 61.5	7,926 4,612	100.0 58.2										
計	全国 沖縄	1,203,776.7 7,916.4	710,635.9 5,346.9	59.0 67.5	320,617.2 3,844.2	26.6 48.6	5,565 3,886	100.0 69.8	2,511 2,794	100.0 111.3	15,222 8,351	100.0 54.9	8.986 5.640	100.0 62.8	4.054 4.055	100.0 100.0	3,185 3,478	100.0 109.2	4,990.6 63.5	63.5 61.0											
沖縄シェア		0.7	0.8	114	1.2	182	69.8	69.8	111.3	111	54.9	54.9	62.8	62.8	100.0	100	109.2	109	0.7	113	61.0	61									

(注) 各数値は、単位未満を四捨五入したため、数値が合致しない場合がある。全国面積377,944km²、沖縄2,276km²、全国総人口127,692千人、沖縄1,376千人、全国自動車台数79,081千台、沖縄948千台である。
改良済延長で国道、県道は幅員5.5m以上、市町村道は5.5m未満を含む。舗装済延長は簡易舗装除きである。

道路延長

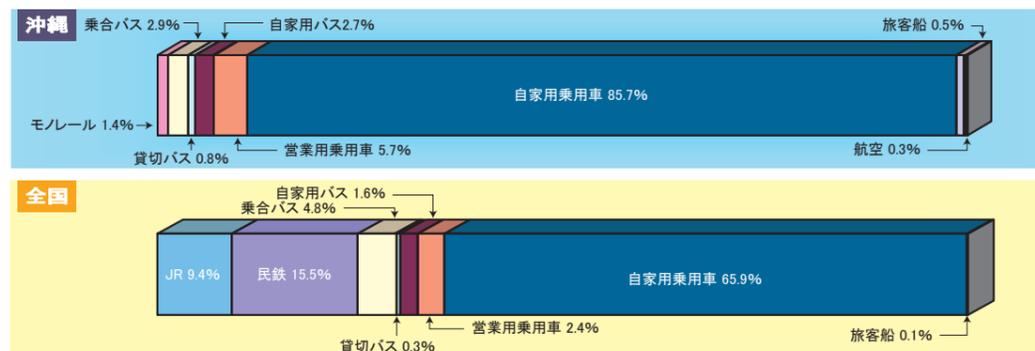
本県は、陸上交通のほとんどを道路に依存していることから、道路整備が県民生活や産業活動に与える影響は極めて大きく、重点的に整備を推進しています。
しかし人口、自動車台数当たりの道路延長は全国平均の約6割程度と低く、増加する交通需要や高速性、快適性等高度化、多様化する利用者のニーズに対応するには、なお一層の体系的な整備とその質的向上が必要です。



資料: 道路統計年報(2009年度版)

1. 機関別旅客輸送分担率の比較(域内量)

全国では、全旅客輸送(域内)のうち約3割を鉄道で分担していますが、本県では、陸上交通のほとんどを道路に依存しており、その役割は重要です。
特に自家用の分担率は年々上昇を続け、平成19年度には約9割となっています。



資料: 「平成19年度 旅客地域流動調査」

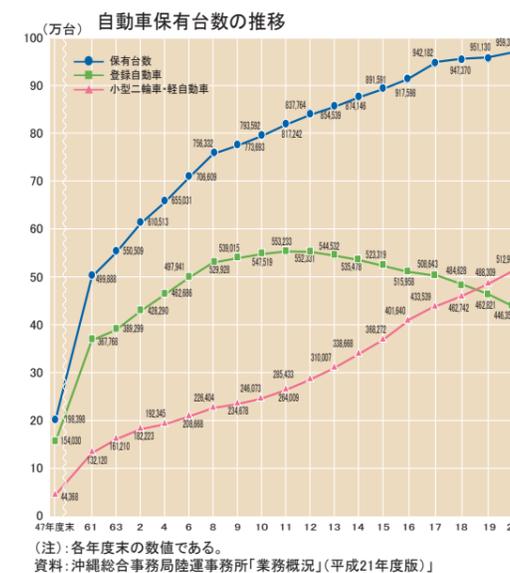
2. 自動車保有台数

県内の自動車保有台数は年々上昇を続け、復帰時の昭和47年度に比べ、平成20年度末には約4.8倍となり一世帯に1.7台になりました。

自動車三輪以上の保有率

	項目	47年度末	H20年度末	伸び率
沖縄	自動車保有台数 (千台)	198	959	4.84
	人口 (千人)	981	1,398	1.43
	世帯数 (千世帯)	237	550	2.32
	人口一人当たりの保有率 (台/人)	0.2	0.69	3.40
	一世帯当たりの保有率 (台/世帯)	0.84	1.74	2.09
全国	自動車保有台数 (千台)	21,547	78,801	3.66
	人口 (千人)	107,332	127,076	1.18
	世帯数 (千世帯)	29,577	52,877	1.79
	人口一人当たりの保有率 (台/人)	0.20	0.62	3.09
	一世帯当たりの保有率 (台/世帯)	0.73	1.49	2.05

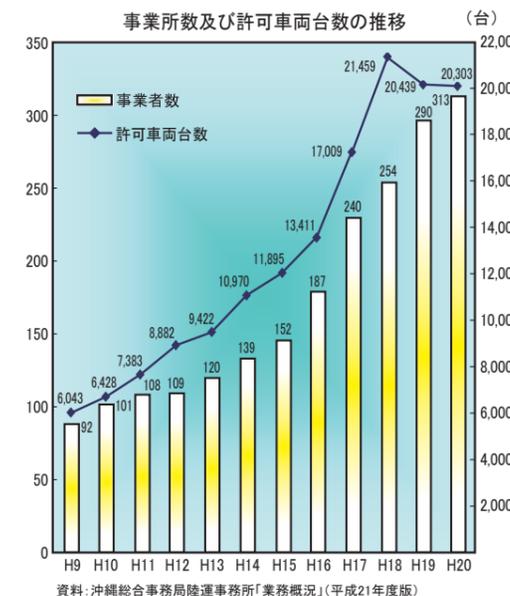
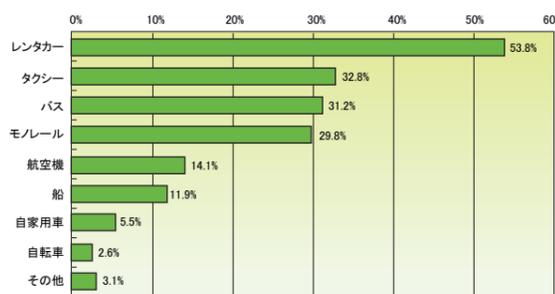
資料: 1. (人口、世帯数)は、総務省自治行政局「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(平成21年度3月31日現在)」による。
2. (自動車保有台数)は、社団法人 日本自動車工業会「自動車統計月報(2009年6月号)」による。



3. レンタカーの状況

沖縄を訪れた観光客の移動手段はレンタカーが最も多く、また、レンタカー一事業所の推移を見ると毎年増加傾向にあり、平成20年度は313事業所(営業所含む)許可車両台数20,303台となっています。平成9年度と比較すると、事業所数で3.4倍(221事業所増)、車両台数で3.4倍(14,260台増)の増加となっています。

利用交通機関



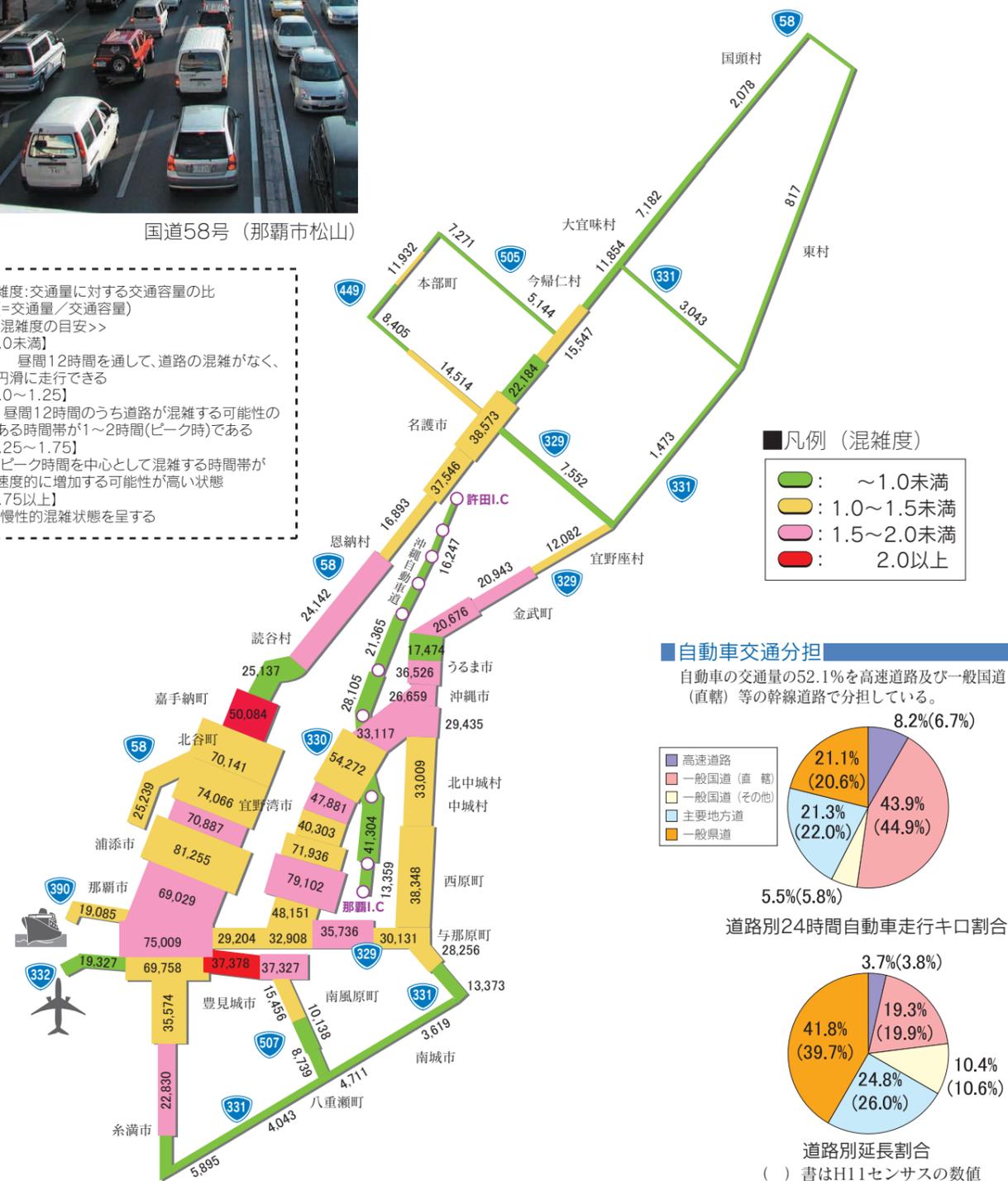
4. 交通量 (平成17年度道路交通センサスより)



国道58号 (那覇市松山)

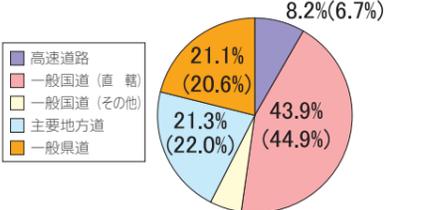
沖縄本島における幹線道路の交通量は図示の状況です。
 那覇市を中心とする中南部で多くなっており、混雑度も高く道路網や交通容量の不足が原因と思われる交通渋滞が発生しています。
 また、休日でも主要観光地周辺の交通量は、平日を上回っています。
 (数値は平日24時間交通量)

混雑度: 交通量に対する交通容量の比
 (=交通量/交通容量)
 <<混雑度の目安>>
 [1.0未満]
 昼間12時間を通して、道路の混雑がなく、円滑に走行できる
 [1.0~1.25]
 昼間12時間のうち道路が混雑する可能性のある時間帯が1~2時間(ピーク時)である
 [1.25~1.75]
 ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速度的に増加する可能性が高い状態
 [1.75以上]
 慢性的混雑状態を呈する

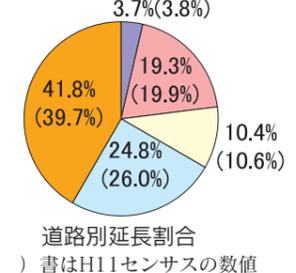


凡例 (混雑度)
 ● : ~1.0未満
 ● : 1.0~1.5未満
 ● : 1.5~2.0未満
 ● : 2.0以上

自動車交通分担
 自動車の交通量の52.1%を高速道路及び一般国道(直轄)等の幹線道路で分担している。



道路別24時間自動車走行キロ割合



道路別延長割合
 () 書はH11センサスの数値

5. 渋滞状況

渋滞

全国ワースト6位、3大都市圏以外では最も大きい渋滞損失時間

沖縄県の1km当たり渋滞損失時間は 4.1万人時間/年・kmと、全国平均の2倍以上で、全国ワースト6位の低水準となっています。これは、3大都市圏以外で最も大きい値であり、全国的に見ても渋滞が著しい地域と言えます。

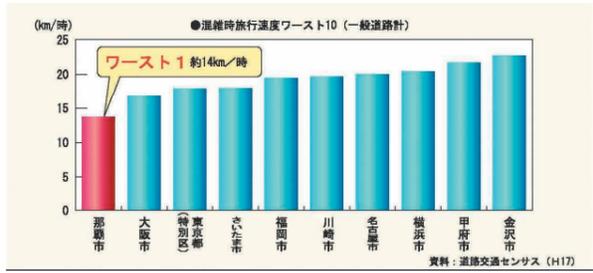


表 1km当たり渋滞損失時間ワースト地域(H14)

都道府県	1km当たり渋滞損失時間 (万人時間/年・km)
1 東京都	13.7
2 大阪府	10.8
3 神奈川県	7.6
4 埼玉県	5.4
5 愛知県	4.9
6 沖縄県	4.1
7 千葉県	4.1
8 宮城県	3.6
9 静岡県	3.4
10 京都府	3.2
全国平均	2.0

資料: 国土交通省資料

管内における1kmあたり渋滞損失時間ワースト区間

国道58号那覇~北谷において、ワースト10区間中6区間が分布し、特に渋滞が著しい

センサス区間別1km当たり渋滞損失時間の状況では国道58号において、県内ワースト10区間中6区間を占め、那覇市(1021~23)や浦添市(1019~20)、北谷町区間(1016)にて高まりを見せ、また、国道330号ひめゆり通り(1053)や、国際通り周辺(6041~42)、県庁前交差点(6044)においても著しい状況となっています。

センサス区間別1kmあたり渋滞損失時間 (H17)

順位	路線名	センサス番号	地点名	1km当たり渋滞損失時間 (時間/年・km)
1	国道58号	1023	那覇市旭町	2,060,192
2	国道58号	1022	那覇市久茂地2丁目	1,222,195
3	県道42号線	6044	那覇市久茂地1丁目	912,660
4	県道39号線	6042	那覇市字安里	903,685
5	国道330号	1053	那覇市与儀	893,270
6	国道58号	1021	那覇市字天久	763,765
7	国道58号	1016	北谷町字桑江	675,020
8	国道58号	1019	浦添市牧港1丁目	613,620
9	国道58号	1020	浦添市字勢理客	598,457
10	県道39号線	6041	那覇市字松尾	596,156

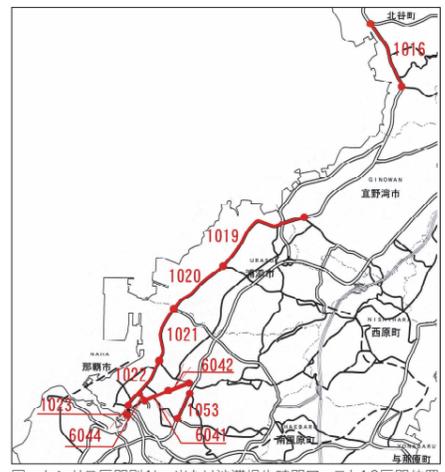


図 センサス区間別1km当たり渋滞損失時間ワースト10区間位置

管内における混雑時旅行速度ワースト区間

117区間が全国直轄国道“DID地区”における混雑時旅行速度の平均以下となっています。

表: 沿道状況別平均混雑時旅行速度

沿道状況	混雑時旅行速度(km/h)
D I D	21.0
その他市街部	30.3
平地部	38.6
山地部	39.2
計	35.3

参考: H17道路交通センサス

ワースト順位	路線名	センサス番号	混雑時旅行速度(km/h)	ワースト順位	路線名	センサス番号	混雑時旅行速度(km/h)
1	国道390号	1083	2.8	11	真地久茂地線	6100	7.3
2	那覇内環状線	6097	3.5	12	那覇糸満線	4059	7.5
3	県道39号線	76039	5.0	13	那覇北中城線	4021	7.6
4	南風原与那原線	16113	5.6	14	県道39号線	6040	7.6
5	那覇北中城線	4016	5.8	15	県道46号線	6046	8.1
6	県道28号線	6026	5.9	16	国道507号	1097	8.4
7	那覇糸満線	4060	6.3	17	県道39号線	6041	8.4
8	国道330号	1053	7.1	18	国道331号	1055	8.5
9	那覇北中城線	4017	7.1	19	県道42号線	6043	9.1
10	県道54号線	6055	7.3	20	那覇内環状線	6098	9.8

道路は県民生活の向上と地域経済の健全な発展に必要な公共施設であります。このため、県財政のきびしい状況の中で、選択と集中により、効率的かつ効果的な道路整備につとめています。

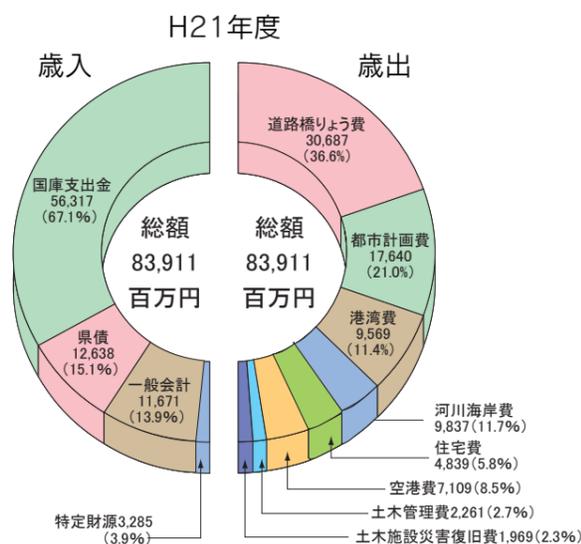


沖縄西海岸道路(豊見城道路)

平成21年度予算規模 (一般会計)

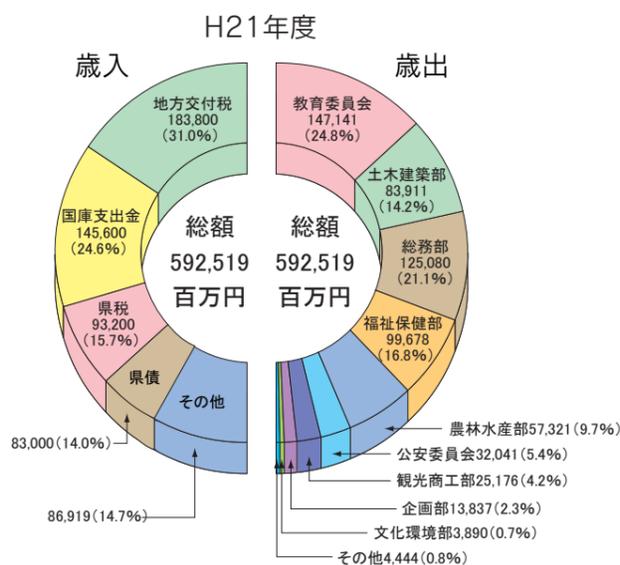
●土木建築部予算 (年度当初) 単位: 百万円

土木建築部予算



●県予算 (年度当初) 単位: 百万円

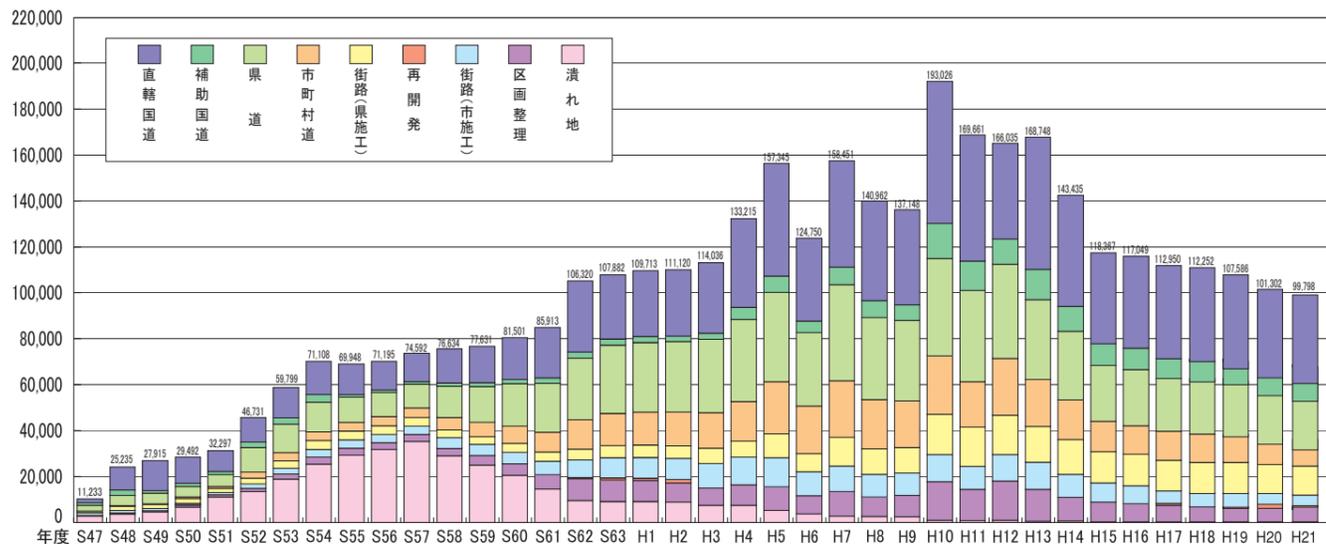
県 予 算



道路の予算

沖縄道路事業費の推移 (補正後予算ベース)

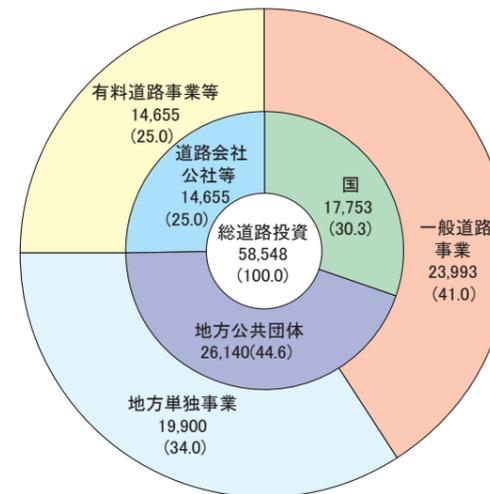
事業費 (単位: 百万円)



資料: 実施計画説明資料、道路統計年報
注1) 直轄、補助事業は、補正後予算ベース(交付金含み)交通安全・調査・再開発・機械は、各管理者に含む。単独費は含まない。各グラフ上の数字は、各年度の合計である。
注2) 但しH21については当初予算

平成21年度 全国の道路投資の内訳等

平成21年度道路関係予算における道路財源は、国で17,753億円、地方で26,140億円と総投資額(58,548億円)の約7割を占めております。



事業別の構成 (単位: 億円) ()内は構成比(単位: %)

- <注> 1. 外円は事業別、内円は事業主体別
2. 四捨五入の関係で、各係数の和が合計と一致しないところがある。
3. 有料道路事業等には、都市再生機構が実施する事業に係る経費等を含む。
4. この他に、地域活力基礎創造交付金9,400億円があり、地方の要望に応じて道路整備に充てることができる。

道路の予算

道路特定財源の経緯

昭和28年	「道路整備費の財源等に関する臨時措置法」が制定され、揮発油税を道路整備のため特定財源とする。
昭和29年	揮発油税を道路特定財源として第1次道路整備五箇年計画が発足
昭和30年	地方道路税、地方道路譲与税の創設
昭和31年	軽油引取税の創設
昭和33年	「道路整備費の財源等に関する臨時措置法」を廃止、「道路整備緊急措置法」を施行、「道路整備特別会計」設置
昭和41年	石油ガス税、石油ガス譲与税の創設
昭和43年	自動車取得税の創設
昭和46年	自動車重量税、自動車重量譲与税の創設
平成15年	「道路整備緊急措置法」を「道路整備費の財源等の特例に関する法律」に改正。道路整備五箇年計画を社会資本整備重点計画に統合。
平成20年 4/1	暫定税率失効、道路整備財源特例法失効
平成20年 5/1	暫定税率復活
平成20年 5/13	道路整備財源特例法復活
平成20年 12/8	「道路特定財源の一般化等について」政府・与党合意
平成21年 4/1	道路特定財源の一般財源化

道路事業のしくみ

